

東出雲公民館開設と 複合施設建設に向けて

〔発行〕

令和元年9月

〔発行者〕

東出雲町自治会連合会

まちづくり会議の開催

東出雲町自治会連合会主催の、まちづくり会議を、八月二日、東出雲ふれあい会館で開催しました。今年度は、「東出雲公民館開設と複合施設建設に向けて」をテーマに、松江市教育委員会と東出雲町自治会連合会、東出雲地域協議会、東出雲地区社会福祉協議会と東出雲公民館運営協議会準備委員・東出雲複合施設建設委員、各公民館長、来賓として地元市議会議員三名の方に出席いただき、「第一部」公民館制度見直しの経過、「第二部」今後の取組みについて、松江市教育委員会、公民館関係者から説明を受けました。

〔この会議で説明のあった事項〕

この会議において、説明のあったポイントは次のとおりです。

● 東出雲公民館開設に向けて「東出雲公民館運営協議会準備会」、複合施設建設に向けて「東出雲複合施設建設委員会」が発足したこと。

● 四つの公民館を統合した東出雲公民館について、令和三年四月から、「現東出雲ふれあい会館」を利用して、公設自主運営方式で運用を開始すること。

● 五つの機能（支所、公民館、図書館、子育て支援センター、包括支援センター）を持つ複合施設について、松江市が「東出雲保健相談センターエリア」に建設し、令和五年四月を目途に東出雲公民館として運用開始すること。

公民館を一つにすることは、単に建物が一つになることではありません。「まちづくりの拠点」となる東出雲公民館の創造を目指し、四つの地域が心を一つにして、協力していきます。



まちづくり会議の様子



意見を述べる田平さん



意見を述べる石橋さん



市の考え方を説明する清水教育長

〔東出雲公民館運営協議会準備会〕

この準備会は、東出雲公民館の運営主体となる東出雲公民館運営協議会の前身となるもので、四公民館の個性を尊重しながらオール東出雲の公民館を開設するため、次のことをすることとしています。

●子育て支援、青少年育成、高齢者福祉等の公民館事業の骨格の検討。

●四公民館の活動の内、東出雲公民館に引き継ぐ事業の仕方。

●東出雲公民館の事業内容、推進メンバー、事業資金などに加え、事業継承の効果と負担等を住民に周知すること。

〔東出雲複合施設建設委員会〕

この委員会では、東出雲複合施設の建設にあたり地域住民にとってより使い勝手の良い施設となるよう松江市と協議や調整を行うこととしています。具体的なスケジュールは次のとおりです。

【令和元年度】

現在の支所、東出雲ふれあい会館及び図書館等の利便性を確認し、複合施設の大きさ、配置、駐車場及び進上路等について、地元意見を基本計画に反映させること。

【令和二年度】

基本計画を基に作成された基本設計・実施設計に対する意見を松江市に述べること。

【令和三・四年度】

松江市からの確認に対して回答すること。

〔東出雲公民館（複合施設）の建設場所〕

どこに建設するのが最適であるのかいろいろな検討を行いました。利便性・親近感・都市機能・地域活性化など様々な考えがあり、何よりも公民館施設が無くなる地区の喪失感が大きいことを痛感しています。

その思いを背負いながら、東出雲公民館検討委員会は、公平に意見集約をし、検討を重ね、揖屋駅周辺を選びました。

平成三十年八月から九月にかけて、四地区で住民説明会を開催し、東出雲公民館検討委員会から「支所周辺エリア」又は「保健相談センターエリア」を候補地として、松江市に要望することを説明しました。

そして、東出雲地域協議会、東出雲町自治会連合会、東出雲地区社会福祉協議会（以下三団体という。）が連名で平成三十年九月二十七日に松江市長に「東出雲公民館設置に関する要望書」を提出し、住民説明会での意見なども伝えました。

その後、同年十一月十五日に松江市から「保健相談センターエリア」とする旨の回答があり、進上路の安全対策や駐車場の確保などについて課題解決を求めました。

三団体は、それぞれこの回答について検討を行い、受け入れることを確認し、住民の皆様には、平成三十一年一月の東出雲公民館検討委員会つうしん第三号に松江市からの回答内容全文を掲載しお知らせしました。

建設場所については、この会議の中でも再考を求める意見がありました。清水教育長から「松江市としては、教育委員会だけではなく、関係部署、副市長、市長とも協議して保健相談センターエリアと回答させていただいた。回答のとおり進めたいので、ご理解いただきたい。」との答弁がありました。

また、この会議では、公民館がなくなる各地区から、今後の対応について検討状況を発表していただきました。



出雲郷の取組みを説明する佐田尾さん



下意東の取組みを説明する福間さん



上意東の取組みを説明する森廣さん